



## まちづくり だより No.18



ともに考えたい松風台のこれから

松風台自治会 会長 晴山 暁子

去年の夏には「来年の今頃はオリンピックだね」「日本は、それ一色だろうね」…そんなことを話していたことを思い出しました。今ではオリンピックのことはほとんど話題にもならず、コロナの陽性者の数が一番の関心事です。  
あらためて「こんなこともあるのだな」としみじみ思います。

書面表決でスタートした今年度の自治会も6ヶ月が過ぎました。コロナのせいで例年通りの活動はできません。夏祭りも中止になりました。そんな中、私たち役員4役は「松風台めぐり」をしました。「ごみボックス化の取り組み」（前年度からの引き継ぎ）のためです。

「ごみステーションを廻って、たくさんの人にお話を聞かせていただきました。ごみは日常生活の最も基本的なこと、みんなで取り組んでいけるといいなあ…」と話し合いながら歩きました。

あちこちまわっていると地域の空気がしみこんで来るような気がします。ゆったりとした道、緑したたる木々、公園で遊ぶ子どもたち、犬と散歩している人。「いい地域だなあ」「きっと住んでいる人たちの思いがこんな地域を作っているのだろう」私はそんなことを感じながら松風台を歩きました。

この気持ちよさは、地域の人々が住みよい環境を考え、話し合いながらさまざまなことに取り組んで来たからでありましょう。

これからの松風台のことを考えると住む人の高齢化の問題や空き家による伸びすぎた木々、茂った雑草、ベランダや壁など建て物の劣化問題も心配です。

同時に、松風台はこれから羽ばたく子どもたちや若者の地域でもあります。思いっきり遊べる場所が必要ですね。

住みよい環境をともに考えていける地域をみざしたいものです。



松風台



～家を建てるときには まちづくり運営委員会 に連絡を～  
受付携帯電話 090-6928-3830

コロナ禍のステイホームでしたので  
これまでの委員会活動を改めてまとめてみました。



## 松風台自治会 まちづくり運営委員会

松風台には良好な住環境を守るための「住民協定」があります。  
まちづくり運営委員会はその運用管理を担当しています。

### 「住民協定」は 2012 年 7 月に発効

背景：土地の分割化、家屋の密集化や高層化、緑の減少など住環境への悪影響、まちの景観への悪化が心配でした。  
これらを未然に防ぎ、緑豊かな低層住宅地としての住環境を継続するために発効されました。

内容：松風台住民協定（骨子）



1. 一戸建て
2. 2階以下 建物高さ 8.00m以下 軒高さ 6.50m以下
3. 敷地境界 1.00m以上
4. 外構 緑地を推奨
5. 建物の色彩 周辺との調和を配慮

### まちづくり運営委員会の主な活動

新築計画の情報を受け、住民協定について施主、事業者との事前調整を行います。その後、事前相談会、近隣説明会を開催します。

#### 事前相談会では

住民協定に則しているか確認します。屋根の高さ、隣地との距離、窓の位置、給湯器・空調の室外機の位置など論議されます。  
工事内容、トラブル防止対応などの説明も伺います。

#### 近隣説明会

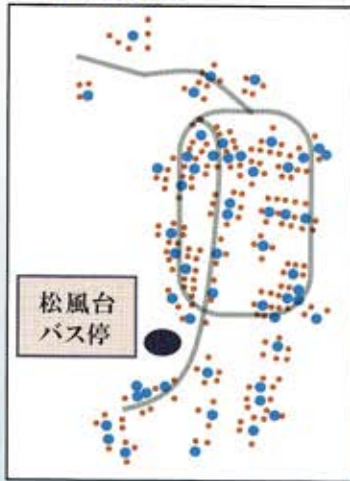
近隣説明会では新築計画の説明と事前相談会の内容を紹介します。同時にご近所とのお付き合いのきっかけの場ともなっています。

近隣住民への説明会



## 新築件数と近隣説明会の実施状況です

- 近隣説明会参加世帯
- 新築事案



近隣説明会への参加も 延べ300軒を超え、  
全世帯の半数を超えました。

新築件数 65件 説明会参加 302世帯  
(2020/8 現在)

## 良好な住環境を守るための住民協定です

茅ヶ崎市の景観ポイント地区に推奨

2010年



茅ヶ崎市景観計画で「緑豊かな低層住宅地」  
として景観ポイントに推奨されました。

- 景観ポイント  
(27か所)

2017年

国土交通省のまちなみコンクールで受賞

「住まいのまちなみ賞」(優秀賞)を  
受けることができました。



2020年度  
まちづくり  
運営委員会

委員長	晴山 暁子
副委員長	行正 龍昭
〃	茂木 信男
顧問	西原 義明
事務局長	小山 博美
会計	橋本 壽与

委員	渡辺 恵美子
〃	浦嶋 稔
〃	富岡 真弓
〃	原田 真弥
〃	竹松 和男
〃	濱口 豊

「住みたい街、暮らしたい街」をめざして頑張っています。

## 「緑のまち」の良さ

- ◆ 夕方、散歩をしている人をよく見かけます。「松風台は緑が多く庭のお花がきれいですね」と声をかけられ、うれしく思うことがあります。
- ◆ まちづくり運営委員会として新築を予定している方に、できるだけ庭に緑を、また道路に面しているお宅には生け垣のような植栽を…とお願いしているところです。

ただ、庭木や樹木の管理についてはたくさんの意見もあります。

みどりはよいが高齢化で管理が負担

庭木が大きくなりすぎて通る人や隣家の迷惑になる など

- ◆ 松風台は緑の多い低層住宅地として茅ヶ崎市からも緑化を推奨されていますが、景観だけでなく緑は住む環境の点でも優しくこの暑さも樹木の下では2、3度低いと言われています。
- ◆ お互いに気持ちよく住み合える「みどり(樹木)」について考えてみることも必要ではないでしょうか。

まちづくり運営委員会 事務局長 小山博美



深い緑をバックに望むまちなみ



松風台南公園 住民の憩いの場

## みんなのまち 松風台

入居されて2年になる4街区の石井様にお聞きしました。

### ★ なぜ松風台を選ばれましたか？

男の子がいるので多少騒がしくてもよい所をと考えていました。まちなみも美しく、公園もあり、子育てにはよい環境と思いました。道路が広いことも魅力でした。

### ★ 住まわれてみてどうでしたか？

コロナウイルス感染で自粛の最中にありますが、3人の子どもたちにとっては、公園も近く、遊べる環境があり、住んでよかったです。

ただ、公園での犬の散歩による「ふん」の放置やごみ、空き缶の散乱(自宅玄関先にも)などがあり残念な気持ちです。とても困っています。

### ★ 今後についてなにか心配なことはありますか？

自治会のことをほとんど知らないので、例えば班長当番の順番がいつ廻ってくるのか、自治会では何をやるのかなど心配です。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

(まとめ 小山)

コロナ禍で夏まつりやイベントなども中止となり淋しい夏になりました。私は毎朝散歩をして街や家並みの変化を感じさせられています。

「緑」が多いお宅は古くから住まわれている方、大きく立派なお宅は最近の建物でしょうか。「緑」と「住まい」の考えが変わってきたと思われます。

私も10数年前、風通しのため隣との間の樹木を切ってしまいましたが去年、残っていた楓の木の一部も枯れてしまって「緑」が寂しい状況です。

「あのときどうして切ってしまったか」と反省しています。

「緑」は欲しいと思ってすぐできるものではないのですね。

長い時の積み重ねなのだと考えさせられているこの頃です。

～編集後記～ 茂木信男

